

# 特別プログラム

※本号（ ）内のページ数を掲載しております。

	プログラム/抄録	
代議員総会・会員総会・評議員会 .....	P.25	—
第19回日本エイズ学会学会賞 (シミック賞) 受賞講演 .....	P.25	—
プレナリーレクチャー .....	P.25	P.89
会 長 講 演 .....	P.26	P.90
特 別 講 演 .....	P.26	P.91
特 別 シ ン ポ ジ ウ ム .....	P.27	P.92
日本性感感染症学会と日本エイズ 学会の合同シンポジウム .....	P.29	P.111
シンポジウム「治療の手引き」 .....	P.30	P.115
シ ン ポ ジ ウ ム .....	P.30	P.120
ワ ー ク シ ョ ッ プ .....	P.39	P.170
ポジティブトークセッション .....	P.40	P.179
メモリアルサービス .....	P.40	P.180
日本エイズ学会認定講習会(医師) .....	P.41	P.181
日本エイズ学会認定講習会(看護師) .....	P.41	P.185
HIV 感染症指導看護師向けアドバンスト研修 .....	P.42	P.189
HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会 .....	P.42	P.192
市 民 公 開 講 座 .....	P.43	P.196
共 催 シ ン ポ ジ ウ ム .....	P.44	P.197
ランチョンセミナー .....	P.48	P.209
ティータイムセミナー .....	P.53	P.229



- 日時：11月19日（土） 13:00～13:50
- 会場：第2会場（アクトシティ浜松B1F 中ホール）
- 議長：学術集会・総会会長

※代議員総会・会員総会・評議員会およびシミック賞・ECC奨励賞の授賞式ならびにECC奨励賞受賞者からのお言葉をいただきます。

※参加者は学会員に限ります。

## 第19回日本エイズ学会学会賞（シミック賞）受賞講演

- 日時：11月19日（土） 14:10～14:25
- 会場：第2会場（アクトシティ浜松B1F 中ホール）

第19回  
日本エイズ学会学会賞  
（シミック賞）受賞講演

座長 杉浦 互（国立国際医療研究センター臨床研究センター）

## プレナリーレクチャー

- 日時：11月18日（金） 9:15～10:15
- 会場：第2会場（アクトシティ浜松B1F 中ホール）※同時通訳有り

プレナリー  
レクチャー

座長/Chairs

杉浦 互（国立国際医療研究センター 臨床研究センター）  
Wataru Sugiura (National Center for Global Health and Medicine)  
松下修三（熊本大学・鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）  
Shuzo Matsushita (Joint Research Center for Human Retrovirus  
Infection, Kumamoto and Kagoshima  
Universities)

■演者/Speaker：

PL 25 years of the HIV DRP : From Resistance to Persistence  
John M. Coffin  
Tufts University, Boston MA, USA

# 会長講演

■日時：11月19日（土） 14：25～14：40

■会場：第2会場（アクトシティ浜松 B1F 中ホール）

## 会長講演

座長 俣野哲朗（国立感染症研究所）

■演者：

CH 薬剤耐性 HIV 検査・研究の25年間：1996年から今日、そしてこれから  
杉浦 互  
国立国際医療研究センター臨床研究センター

# 特別講演

■日時：11月19日（土） 9：00～10：00

■会場：第1会場（アクトシティ浜松 1F 大ホール）

## 特別講演

座長/Chair

今橋真弓（名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部）  
Mayumi Imahashi (Nagoya Medical Center)

■演者/Speaker：

SP How the response to HIV changed global health forever  
Benjamin Young  
Global Medical Directors, ViiV Healthcare

# 特別シンポジウム

■日時：11月18日（金） 13:30~16:30

■会場：第1会場（アクトシティ浜松 1F 大ホール）※同時通訳有り

特別 シンポジウム 1 (基・B)	ウイルスゲノム・耐性 シンポジウム	座長/Chairs	満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所） Hiroaki Mitsuya (National Center for Global Health and Medicine)
			杉浦 互（国立国際医療研究センター臨床研究センター） Wataru Sugiura (National Center for Global Health and Medicine)

■演者/Speakers：

- SPSY1-1** 日本における伝播性薬剤耐性 HIV  
サーベイランス  
Surveillance of transmitted  
drug resistance in Japan  
菊地 正 (Tadashi Kikuchi)  
国立感染症研究所エイズ研究センター (AIDS  
Research Center, National Institute of  
Infectious Diseases)
- SPSY1-2** ドルテグラビルの創薬と臨床開発、  
耐性に出にくいプロファイル  
について  
Dolutegravir ; its Discovery,  
Development, and a High Bar-  
rier to Resistance  
藤原民雄 (Tamio Fujiwara)  
元塩野義製薬(株) (Former employee of Shionogi  
& Co., Ltd.)
- SPSY1-3** Understanding and dealing  
with HIV resistance and  
persistence  
John M. Coffin  
Tufts University, Boston MA, USA
- SPSY1-4** Analysis of HIV Population  
Genetics to Inform Under-  
standing of Virus Replication,  
Persistence, and the Emer-  
gence of Antiretroviral Drug  
Resistance  
Frank Maldarelli  
Clinical Retrovirology Section, HIV Dynamics  
and Replication Program, NCI-Frederick, NIH,  
USA
- SPSY1-5** 宿主免疫によって誘導される薬剤  
耐性変異  
Naturally selected drug-resis-  
tant HIV-1 mutations by host  
cellular immunity  
瀧永博之 (Hiroyuki Gatanaga)  
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター  
(AIDS Clinical Center, National Center for  
Global Health and Medicine)

# 特別シンポジウム

■日時：11月19日（土） 14:50～16:20

■会場：第1会場（アクトシティ浜松 1F 大ホール）

特別 シンポジウム2 (基・B)	抗 HIV 薬の開発と 40 年の あゆみ ～Dr. John C. Martin Memorial symposium～	Chairs	Hiroaki Mitsuya (National Center for Global Health and Medicine)
			Wataru Sugiura (National Center for Global Health and Medicine)

■ Speaker :

SPSY2 Raymond F. Schinazi  
Emory University Center for AIDS Research

■日時：11月20日（日） 8:30～10:30

■会場：第1会場（アクトシティ浜松 1F 大ホール）

特別 シンポジウム3 (コロナ・ COVID-19)	COVID-19 パンデミックの 出口戦略	座長	大曲貴夫 (国立国際医療研究センター国際感染症センター)
			貞升健志 (東京都健康安全研究センター微生物部)

■演者：

SPSY3-1 臨床現場の医師からみた  
COVID-19 発生から出口戦略  
～ピンチをチャンスに、臨床現場  
からイノベーションの灯を～  
田島靖久  
浜松医療センター感染症内科

SPSY3-2 静岡県行政から見た地域医療の中  
での COVID-19 出口戦略  
後藤幹生  
静岡県健康福祉部

SPSY3-3 新型コロナウイルス Variants 解析  
の意義を考える  
貞升健志  
東京都健康安全研究センター微生物部

SPSY3-4 パンデミック初期から  $\delta$  株流行期  
にかけての COVID-19 患者の特徴  
と予後の変化：レセプト情報・特定  
健診等情報データベースから得ら  
れたビッグデータの解析  
宮下晃一  
浜松医科大学内科学第二講座

SPSY3-5 COVID-19 の臨床と行政対応のこ  
れまでと今後  
大曲貴夫  
国立国際医療研究センター国際感染症センター

# 特別シンポジウム

■日時：11月20日（日） 10:40～12:10

■会場：第1会場（アクトシティ浜松 1F 大ホール）

## 特別 シンポジウム 4 (社・S)

エイズ予防指針アップデート：  
ポストコロナの予防指針とは

座長

松下修三（熊本大学・鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

白阪琢磨（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）

■演者：

SPSY4-1 エイズ予防指針成立の経緯と課題

花井十伍

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

SPSY4-2 多様化する課題～医療ソーシャル  
ワーカーの立場から～

岡本 学

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV 地域医療支援室

SPSY4-3 PrEP の社会実装におけるクリニック  
の役割

塩尻大輔

パーソナルヘルスクリニック/国立国際医療研究センター

SPSY4-4 日本のセクシュアルヘルスと予防  
啓発—社会が担う役割—

塩野徳史

大阪青山大学健康科学部/MASH 大阪

SPSY4-5 予防指針内の施策の実施状況に関  
するアンケート調査結果

塚田訓久

国立病院機構東埼玉病院臨床研究部

# 日本性感染症学会と日本エイズ学会の合同シンポジウム

■日時：11月18日（金） 10:30～12:00

■会場：第3会場（アクトシティ浜松 3F 31 会議室）

## 日本性感染症学 会と日本エイズ 学会の合同シン ポジウム (社・S)

脆弱化する STI 予防体制：手持  
ちのツールを対策に生かすため  
には？

座長

四柳 宏（東京大学医科学研究所先端医療研究センター  
感染症分野）

高田清式（愛媛大学医学部附属病院）

■演者：

JS-1 発生動向調査からみた STI の流行の  
現状

山岸拓也

国立感染症研究所薬剤耐性研究センター

JS-2 HPV 関連疾患とワクチンによる  
感染対策

川名 敬

日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学分野

JS-3 MSM の、コミュニティにおける  
性感染症の予防啓発の取り組みと  
課題

岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

# シンポジウム

■日時：11月20日（日） 14:00～16:00

■会場：第3会場（アクトシティ浜松3F 31会議室）

※サテライト会場：第4会場（アクトシティ浜松4F 41会議室）

## シンポジウム 「治療の手引き」 (臨・C)

治療の手引き

座長

満屋裕明（国立研究開発法人国立国際医療研究センター）  
岡 慎一（国立研究開発法人国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター）  
白阪琢磨（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）

■演者：

TR1-1

What's New

白阪琢磨

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

TR1-3

PrEP と Sexual Health

～STI 予防の展望～

水島大輔

国立国際医療研究センター病院

TR1-2

持効性注射薬による新しい治療

安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

TR1-4

ヒトサル痘の特徴、2022年のヒト

サル痘の世界的流行の背景と対策

西條政幸

札幌市保健福祉局・保健所医療政策部

★日本エイズ学会認定講習会（医師・看護師）

★ HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

■日時：11月18日（金） 10:30～12:00

■会場：第4会場（アクトシティ浜松4F 41会議室）

## シンポジウム 1 (臨・C)

「断層の世代が支えた HIV 診療  
の向かうところ」

～HIV 診療の地域格差と世代交代を考  
える～

座長

横幕能行（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター）  
矢野邦夫（浜松医療センター）

■演者：

SY1-1

地方都市型の HIV 診療の現状と課題

田島靖久

浜松医療センター感染症内科

SY1-4

地方都市型の HIV 診療と行政

～限られた資源の分配と継続、どの

感染症患者も取り残さないために

行政からの提案～

後藤幹生

静岡県健康福祉部

SY1-2

大都市圏型の HIV 診療

～センター病院の HIV 診療現場から～

南 留美

国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療  
センター

SY1-3

HIV 専門医とプライマリ・ケア医の

架橋をめざして

～Shared care を考える

藤沼康樹

医療福祉生協連家庭医療学開発センター



# シンポジウム

■日時：11月18日（金） 15：50～17：20

■会場：第3会場（アクトシティ浜松3F 31会議室）

シンポジウム2 (社・S)	現代の社会情勢を踏まえたこれからのHIV検査	座長	今橋真弓（名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部）
		コメンテーター	岩橋恒太（特定非営利活動法人 akta） 城所敏英（東京都新宿東口検査・相談室） 船石翔馬（認定NPO 法人魅力的倶楽部福岡コミュニティセンター HACO）

■演者：

SY2-1	アンケート自由記載から読み取る検査を受ける側の本音 今橋真弓 名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部	SY2-3	HIV検査の多言語対応 北島 勉 杏林大学総合政策学部
SY2-2	コロナ禍でのクリニック検査はどう動いたか？ ～沖縄県でのHIV検査機会提供の工夫と課題～ 新里尚美 琉球大学病院第一内科	SY2-4	MSMが現在求めるHIV・STI検査のあり方の検討 ～コミュニティセンターaktaでの郵送DBS検査キット配付の経験から 岩橋恒太 特定非営利活動法人 akta

■日時：11月18日（金） 15：50～17：20

■会場：第4会場（アクトシティ浜松4F 41会議室）

シンポジウム3 (臨・C)	性感染症制圧に向けた新たな取り組み：感染リザーバーを標的にした公衆衛生対策とその課題	座長	渡辺恒二（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター） 小林鉄郎（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻）
------------------	--	----	---

■演者：

SY3-1	潜伏感染者を標的とした性感染症対策の可能性 渡辺恒二 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター	SY3-3	数理モデルを用いた感染症疫学の考え方 小林鉄郎 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
SY3-2	費用対効果に優れた性感染症検査とHPV関連肛門管癌の対策 安藤尚克 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター	SY3-4	梅毒：迅速診断の展望とゲノム解析結果から見える国内株の系統位置 中山周一 国立感染症研究所細菌第一部

# シンポジウム

■日時：11月18日（金） 17:30~19:00

■会場：第2会場（アクトシティ浜松 B1F 中ホール）

シンポジウム 4 (臨・C)	EACS Live discussion HIV 診療の実臨床について議論する EACS と日本エイズ学会のコラボレーション企画 EACS Live discussion Case-based discussion of the current clinical topics in HIV/AIDS care	Modulators	村松 崇 (東京医科大学病院臨床検査医学科)
	仲村秀太 (琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科)		
			谷口俊文 (千葉大学医学部附属病院感染症内科)
			Jürgen K. Rockstroh (University Hospital Bonn)
			Tristan J. Barber (Royal Free London NHS Foundation Trust Institute for Global Health, University College London)

■ Case presenters :

SY4-1	症例 1 福島一彰 がん・感染症センター都立駒込病院	SY4-3	症例 3 Jasmini Alagaratnam Imperial College Healthcare NHS Trust
SY4-2	症例 2 上村 悠 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター		

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

■日時：11月18日（金） 17:30~19:00

■会場：第3会場（アクトシティ浜松 3F 31 会議室）

シンポジウム 5 (社・S)	日本のセクシュアルヘルスと予防啓発検査 + Condom、U=U、PrEP —これから考えていくべきことは何か？	座長	市川誠一 (金城学院大学看護学部看護学科)
		コメンテーター	金子典代 (名古屋市立大学大学院看護学研究科)
			灰 来人 (認定NPO法人魅惑的倶楽部福岡コミュニティセンター HACO /notAlone Fukuoka HIV 陽性者交流会)
			松本奈桜 (パーソナルヘルスクリニック)
			宮城京子 (琉球大学病院)

■演者：

SY5-1	HIV 感染症と STI の発生動向 松岡佐織 国立感染症研究所エイズ研究センター	SY5-3	コミュニティにおけるコンドーム使用行動と PrEP 利用 塩野徳史 大阪青山大学健康科学部/MASH 大阪
SY5-2	一般市民の HIV 陽性者に対するパブリックスティグマと U=U の知識 戸ヶ里泰典 放送大学		

# シンポジウム

■日時：11月19日(土) 8:30~10:00

■会場：第2会場(アクトシティ浜松B1F 中ホール)

## シンポジウム6 (基・B)

海外連携 新たなブレイクス  
ルーを目指したHIV-1基礎研究  
の最前線：  
Cutting Edge in HIV-1  
Research  
; Pursuing Breakthrough  
Discoveries

Chairs

Akatsuki Saito (Laboratory of Veterinary  
Microbiology, Department  
of Veterinary Medicine,  
Faculty of Agriculture,  
University of Miyazaki)  
Terumasa Ikeda (Division of Molecular  
Virology and Genetics,  
Joint Research Center for  
Human Retrovirus Infec-  
tion, Kumamoto Univer-  
sity, Kumamoto, Japan)

■ Speakers :

**SY6-1** Advances in primary cell gene  
editing towards an improved  
understanding of HIV host  
factors

Judd F. Hultquist

Division of Infectious Diseases, Northwestern  
University Feinberg School of Medicine,  
Chicago, USA/Center for Pathogen Genomics  
and Microbial Evolution, Havey Institute for  
Global Health, Northwestern University  
Feinberg School of Medicine, Chicago, USA

**SY6-2** Insights into the non-catalytic  
function of HIV-1 integrase in  
virion maturation

Sebla B. Kutluay

Washington University in Saint Louis, School  
of Medicine, Molecular Microbiology, Saint  
Louis, MO

**SY6-3** Macropinocytosis promotes  
HIV-1 entry into primary CD4<sup>+</sup>  
T cells

Tomoyuki Murakami

Department of Microbiology & Immunology,  
University of Michigan Medical School

**SY6-4** HIV-1 restriction by endoge-  
nous APOBEC3 family pro-  
teins in the myeloid cell line  
THP-1

Terumasa Ikeda

Division of Molecular Virology and Genetics,  
Joint Research Center for Human Retrovirus  
Infection, Kumamoto University, Kumamoto,  
Japan

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

# シンポジウム

■日時：11月19日（土） 8：30～10：00

■会場：第4会場（アクトシティ浜松4F 41会議室）

シンポジウム7  
（臨・C）

HIV感染者のアドバンス・  
ケア・プランニング

座長

羽柴知恵子（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター）  
東 政美（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）

■演者：

SY7-1

アドバンス・ケア・プランニング＝  
ACP とは

原沢優子

名古屋市立大学大学院看護学研究科

SY7-3

療養者の想いをつなぐ  
～訪問看護師の立場から～

鈴木夕輝

野いちご訪問看護ステーション

SY7-2

HIV感染者へのACPの取り組み  
～CNの立場から～

谷口 紅

国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発  
センター

SY7-4

HIV感染症看護におけるACPの  
ポイント

杉野祐子

国立国際医療研究センター病院/エイズ治療・研究開発  
センター

# シンポジウム

■日時：11月19日（土） 10：10～11：40

■会場：第1会場（アクトシティ浜松 1F 大ホール）

## シンポジウム8 （基・B/社・S）

基礎社会連携  
無くならない感染症への偏見・  
差別  
～ハンセン病、HIV、新型コロナ  
ウイルスと、教訓は何故いかされ  
なかったか～

座長/

パネリスト

安原幸彦（東京南部法律事務所）

吉村和久（東京都健康安全研究センター）

### 【第1部 講演】

■演者：

SY8-1 HIV・エイズにおける偏見・差別  
後藤智己  
社会福祉法人はばたき福祉事業団/東京HIV訴訟原告団

SY8-2 新規感染症における偏見・差別に  
基礎研究者ができること  
吉村和久  
東京都健康安全研究センター

SY8-3 HIVの医療現場における偏見・差別  
立川夏夫  
横浜市立市民病院感染症内科

### 【第2部 パネルディスカッション】

■パネリスト：

後藤智己  
社会福祉法人はばたき福祉事業団/東京HIV訴訟原告団

立川夏夫  
横浜市立市民病院感染症内科

石戸 諭  
ノンフィクションライター

杉原 淳  
厚生労働省健康局結核感染症課エイズ対策推進室

# シンポジウム

■日時：11月19日（土） 10：10～11：40

■会場：第2会場（アクトシティ浜松 B1F 中ホール）

## シンポジウム9 （基・B/臨・C）

基礎臨床連携  
新たなステージに向かう抗 HIV  
治療—長期作用型抗 HIV 治療薬  
の現状と未来—  
A new era for anti-HIV thera-  
pies—Updates on long-act-  
ing anti-HIV drugs—

座長

安達英輔（東京大学医科学研究所附属病院感染免疫  
内科）  
岩谷靖雅（（独）国立病院機構名古屋医療センター）

■演者：

SY9-1 LA-ARVの現在と未来、国内の状況  
安達英輔  
東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

SY9-2 Lenacapavir と islatravir に関する  
基礎研究と臨床応用への進展状況  
前田賢次  
鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

SY9-3 次世代 HIV-1 インテグラーゼ阻害  
剤カボテグラビルの特徴とその  
開発戦略

吉永智一  
塩野義製薬創薬疾患研究所

SY9-4 PLWH と一緒に考える長時間作用  
型注射剤の位置づけ  
今橋真弓

名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

■日時：11月19日（土） 10：10～11：40

■会場：第4会場（アクトシティ浜松 4F 41 会議室）

## シンポジウム 10（臨・C）

東京近郊の PrEP の現状と  
全国展開に向けて

座長

谷口俊文（千葉大学医学部附属病院感染症内科）  
水島大輔（国立国際医療研究センター）

■演者：

SY10-1 東京都新宿東口検査・相談室利用者  
の PrEP 関係の相談状況 2022 年  
城所敏英  
東京都新宿東口検査・相談室

SY10-2 民間クリニックにおける PrEP の  
現状と User の声  
塩尻大輔  
医療法人社団マキマ会パーソナルヘルスクリニック/  
国立国際医療研究センター

SY10-3 PrEP の時代における大学病院の  
セクシャルヘルス外来のあり方

谷口俊文  
千葉大学医学部附属病院感染症内科

SY10-4 PrEP 薬の服用を続けて  
～服用以前と現在を比べて

翁長祐太  
カラフル@はーと

# シンポジウム

■日時：11月19日（土） 16:50～18:20

■会場：第1会場（アクトシティ浜松 1F 大ホール）※同時通訳有り

## シンポジウム 11（社・S）

海外連携  
2030年のエイズ流行終結に  
向けた国際連携とベストプラク  
ティスの共有  
Sharing best practices  
across the border  
—Community involvement in  
HIV response—

座長 金子典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科）  
田沼順子（国立国際医療研究センター）

### <前半>国境を越えた連帯

■演者：

SY11-1 The Global AIDS Strategy  
Eamonn Murphy  
Joint United Nations Programme on HIV/AIDS  
(国連合同エイズ計画)

SY11-2 Integrating HIV Research,  
Training, and community advo-  
cacy: amfAR's TREAT Asia  
program  
Annette Sohn  
TREAT Asia, amfAR-The Foundation for AIDS  
Research

### <後半>地域の HIV 対策—ベストプラクティスの共有—

■演者：

SY11-3 HIV Prevention Partnership  
- ACON's experience with NSW  
Government  
Matthew Vaughan  
HIV & Sexual Health Division, ACON

SY11-4 行政、CBO、医療機関が協働した  
HIV 検査受検勧奨に関する岡山県  
の取り組み  
和田秀穂  
川崎医科大学血液内科学  
新山 賢  
HaaT えひめ/BRIDGE プロジェクト  
ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

# シンポジウム

■日時：11月20日（日） 9:00～10:30

■会場：第4会場（アクトシティ浜松4F 41会議室）

シンポジウム  
12（社・S）

療養支援  
セクシャルマイノリティの心理的  
背景と心理・社会的支援

座長 岡本 学（大阪医療センター）  
宮城京子（琉球大学病院）

■演者：

SY12-1 HIV Futures Japan 第3回調査  
にみるセクシャルマイノリティの  
メンタルヘルスの実態

戸ヶ里泰典

放送大学/HIV Futures Japan

SY12-2 マイノリティとしての自認の  
多様性と重要性

石丸径一郎

お茶の水女子大学

SY12-3 HIV 診療の現場より  
（看護師の立場から）

獅子田由美

広島大学病院看護部

SY12-4 生きづらさを教わることから  
始まる支援  
—ソーシャルワーカーの現場より—

瀬尾 緑

横浜市立大学附属病院



# ワークショップ

■日時：11月18日（金） 13:20～14:20

■会場：第3会場（アクトシティ浜松3F 31会議室）

## ワークショップ 1（社・S）

HIV 検査技術・検査施策

座長 貞升健志（東京都健康安全研究センター微生物部）  
本間隆之（山梨県立大学看護学部）

■演者：

- |       |   |       |   |
|-------|---|-------|---|
| WS1-1 | HIV-1/2 抗体確認検査試薬<br>（HIV 確認 IC 法）の特徴と課題<br>長島真美<br>東京都健康安全研究センター微生物部                | WS1-3 | HIV 郵送検査に関する実態調査<br>（2021）<br>須藤弘二<br>株式会社ハナ・メディテック                                     |
| WS1-2 | 民間クリニックにおける見守り<br>PrEP の実態<br>塩尻大輔<br>パーソナルヘルスクリニック/国立国際医療研究センター<br>・エイズ治療・研究開発センター | WS1-4 | COVID-19 流行下での保健所・<br>特設検査所における HIV 検査・<br>相談実施状況と課題及び工夫<br>土屋菜歩<br>東北大学東北メディカル・メガバンク機構 |

■日時：11月18日（金） 14:20～15:20

■会場：第3会場（アクトシティ浜松3F 31会議室）

## ワークショップ 2（社・S）

コミュニティセンター NGO

座長 塩野徳史（大阪青山大学健康科学部/MASH 大阪）  
金子典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科）

■演者：

- |       |  |       |  |
|-------|--|-------|--|
| WS2-1 | コミュニティセンターにおける<br>相談・支援の実際と課題、<br>「場」の効果について<br>荒木 順<br>特定非営利活動法人 akta/公益財団法人エイズ予防<br>財団 | WS2-3 | セックスワーカーに特有な情報の<br>発信と予防行動へのアプローチ<br>宮階真紀<br>SWASH/MASH 大阪 |
| WS2-2 | アウトリーチにおける店舗ごとの<br>コンドーム配布数とコンドームの<br>活用状況<br>木南拓也<br>特定非営利活動法人 akta/公益財団法人エイズ予防<br>財団   |       |  |

# ポジティブトークセッション

■日時：11月19日（土） 15:50～17:20

■会場：第3会場（アクトシティ浜松3F 31会議室）

ポジティブ  
トークセッション  
（社・S）

ポジティブトーク セッション  
2022～先だった人たちから  
引き継ぐバトン

座長

高久陽介（NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク  
・ジャンププラス）

杉浦 互（国立国際医療研究センター臨床研究センター）

■スピーカー：

1 武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

2 加藤力也

特定非営利活動法人ぶれいす東京

3 灰 来人

認定 NPO 法人魅惑的倶楽部福岡コミュニティセンター HACO/notAlone Fukuoka HIV 陽性者交流会

# メモリアルサービス

■日時：11月19日（土） 17:20～18:20

■会場：第3会場（アクトシティ浜松3F 31会議室）

メモリアルサービス 第12回世界エイズデー メモリアルサービス～生命をつなぐ～

■企画者：有志

# 日本エイズ学会認定講習会（医師）

■日時：11月19日（土） 16：50～18：20

■会場：第5会場（アクトシティ浜松4F 43+44会議室）

日本エイズ学会  
認定講習会  
（医師）（臨・C）

中枢神経系日和見感染症を  
極める！

座長 遠藤知之（北海道大学病院血液内科）  
白野倫徳（大阪市立総合医療センター感染症内科）

■演者：

TR2-1 進行性多巣性白質脳症（PML）の  
診断と治療

白野倫徳

大阪市立総合医療センター感染症内科

TR2-2 トキソプラズマ脳症の診断と治療

安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

TR2-3 クリプトコッカス脳髄膜炎の診断  
と治療

塚田訓久

国立病院機構東埼玉病院臨床研究部

# 日本エイズ学会認定講習会（看護師）

■日時：11月19日（土） 14：50～16：20

■会場：第5会場（アクトシティ浜松4F 43+44会議室）

日本エイズ学会  
認定講習会  
（看護師）（臨・C）

コロナ時代のHIV感染者への  
支援—臨床現場での取り組み—

座長 大金美和（国立研究開発法人国立国際医療研究センター  
病院エイズ治療・研究開発センター）  
杉山仁美（岐阜大学医学部附属病院看護部）

■演者：

TR3-1 コロナ時代のHIV感染者への  
支援—臨床現場での取り組み—  
外来看護編

宮越郁子

北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院

TR3-3 コロナ時代のHIV感染者への  
支援—臨床現場での取り組み—  
（他施設連携）

犬丸真司

独立行政法人国立病院機構九州医療センター

TR3-2 コロナ時代のHIV感染者への  
支援—臨床現場での取り組み—  
（病棟看護編）

米田奈津子

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

# HIV 感染症指導看護師向けアドバンスト研修

■日時：11月18日（金） 17:30～19:00

■会場：第5会場（アクトシティ浜松 4F 43+44 会議室）

## HIV 感染症指導 看護師向け アドバンスト研修 （臨・C）

HIV 感染症指導看護師に求められる役割と看護ケアの実際

座長 渡部恵子（北海道大学病院）  
前田サオリ（琉球大学病院看護部）

■演者：

TR4-1 HIV 看護師育成の実際と課題  
向井三穂子  
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

TR4-2 HIV 看護師育成の実際と課題  
東 政美  
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

# HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

■日時：11月18日（金） 17:30～19:00

■会場：第4会場（アクトシティ浜松 4F 41 会議室）

## HIV 感染症薬物療法 認定・専門薬剤師 認定講習会（臨・C）

薬剤耐性を考慮した薬学的管理  
と服薬支援の実際

座長 石原正志（岐阜大学医学部附属病院薬剤部兼先端医療  
・臨床研究推進センター）  
増田純一（国立国際医療研究センター病院薬剤部）

■演者：

TR5-1 薬剤耐性を考慮した抗 HIV 薬選択  
菊地 正  
国立感染症研究所エイズ研究センター

TR5-3 血中濃度測定事例の紹介  
上原 仁  
琉球大学病院薬剤部

TR5-2 多数の薬剤耐性変異ウイルスを有する AIDS 患者に対してドルテグラビルを簡易懸濁法にて投与し、血中濃度測定を行った症例  
柏原陽平  
京都第一赤十字病院薬剤部

# 市民公開講座

■日時：11月20日（日） 15:30～17:00

■会場：第1会場（アクトシティ浜松 1F 大ホール）

## 市民公開講座

エイズ・HIV感染症

MC 小川綾乃（フリーアナウンサー）

～差別との闘い～

エイズ・HIV感染症を正しく

座長 杉浦 互（国立国際医療研究センター臨床研究センター）

理解しましょう

### ■演者：

#### 1 浜松のエイズ・HIV感染症対策のあゆみ・いま・これから

矢野邦夫

浜松医療センター

#### 2 差別へのチャレンジ 病気について正しく知ろう

北村義浩

日本医科大学

#### 3 差別へのチャレンジ ダイバーシティ・LGBTQ+について考えよう

松中 権

認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ

## ディスカッション「エイズ・HIV感染症と差別 みんなで語ろう」

### ■パネリスト：

矢野邦夫

浜松医療センター

北村義浩

日本医科大学

松中 権

認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ

岩永直子

BuzzFeed Japan 株式会社

# 共催シンポジウム

■日時：11月18日（金） 10：30～12：00

■会場：第1会場（アクトシティ浜松 1F 大ホール）

共催 シンポジウム 1 (臨・C)	HIV 治療における「Patient Empowerment」を考える 一日常診療での実践に向けた課題は何かー	座長 白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センターHIV/AIDS 先端医療開発センター） 東 光久（奈良県総合医療センター総合診療科）
-------------------------	--	---

■演者：

SS1-1	東 光久 奈良県総合医療センター総合診療科	SS1-4	羽柴知恵子 国立病院機構名古屋医療センター看護部
SS1-2	今橋真弓 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター 感染・免疫研究部	SS1-5	岡本 学 国立病院機構大阪医療センター
SS1-3	矢倉裕輝 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター エイズ先端医療研究部		共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

■日時：11月18日（金） 13：30～15：00

■会場：第2会場（アクトシティ浜松 B1F 中ホール）

共催 シンポジウム 2 (臨・C)	ViiV Medical Education Symposia ウイルス抑制後の HIV 陽性者のアンメット・ニーズをどうとらえるか	座長 横幕能行（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター）
-------------------------	---	-----------------------------------

■演者：

SS2-1	横幕能行 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	SS2-3	HIV 陽性者スピーカー 2 名
SS2-2	羽柴知恵子 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター		共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：11月18日（金） 13：20～15：20

■会場：第4会場（アクトシティ浜松 4F 41 会議室）

共催 シンポジウム 3 (臨・C)	HIV 感染症と Aging	座長 松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター） 岡 慎一（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）
-------------------------	----------------	--

■演者：

SS3-1	増加する HIV 感染者の CKD/透析にどう対応するか？ 遠藤知之 北海道大学病院 HIV 診療支援センター/血液内科	SS3-3	死因 2 位・心疾患から HIV 感染者を守るためには ～高齢 HIV 感染者における虚血性心疾患スクリーニング～ 廣井透雄 国立国際医療研究センター循環器内科
SS3-2	多様化する ART 選択 ～誰もが健やかに老いるために～ 今橋真弓 名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部感染症研究室		共催：MSD 株式会社

# 共催シンポジウム

■日時：11月18日（金） 15:20～17:20

■会場：第2会場（アクトシティ浜松B1F 中ホール）※同時通訳有り

<b>共催 シンポジウム 4 (臨・C)</b>	Long-Term Treatment Success～これからのHIV診療における課題と目標～	<b>座長</b> 岡 慎一（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター） 松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）
----------------------------------	--	--

■演者：

SS4-1	LTTTS Framework and Sustained Viral Suppression Cal Cohen Gilead Sciences Inc.	SS4-3	健康関連 QoL の向上を目指した HIV 診療 田沼順子 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
-------	--	-------	--

SS4-2	長期療養と合併症を見据えた治療戦略とマネジメント 木内 英 東京医科大学臨床検査医学分野	共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社 メディカルアフェアーズ本部
-------	--	-------------------------------------

■日時：11月18日（金） 17:00～19:00

■会場：第1会場（アクトシティ浜松1F 大ホール）

<b>共催 シンポジウム 5 (基・B)</b>	HIV-1 感染症の根治に向けて	<b>座長</b> 吉村和久（東京都健康安全研究センター） 石田尚臣（デンカ株式会社）
----------------------------------	------------------	--

■演者：

SS5-1	cART 治療患者の体内に潜む残存 HIV リザーバーを探る：臨床・基礎両面からのアプローチ 前田賢次 鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター	SS5-3	HIV 検査の現状と今後の戦略 貞升健志 東京都健康安全研究センター微生物部
-------	---	-------	--

SS5-2	HIV リザーバーの本態に迫る 佐藤賢文 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター	共催：デンカ株式会社
-------	---	------------

■日時：11月19日（土） 9:00～11:00

■会場：第3会場（アクトシティ浜松3F 31会議室）

<b>共催 シンポジウム 6 (臨・C)</b>	薬剤師ワークショップ 長期療養を見据えた合併症と服薬マネジメント	<b>座長</b> 築地茉莉子（千葉大学医学部附属病院薬剤部） 治田匡平（奈良県立医科大学附属病院薬剤部）
----------------------------------	-------------------------------------	--

■演者：

SS6-1	長期合併症を考慮した抗 HIV 療法の選択 島袋翔多 兵庫医科大学病院薬剤部	SS6-2	認知機能障害を合併した HIV 感染者の服薬管理 合原嘉寿 九州医療センター薬剤部
-------	--	-------	---

共催：ヤンセンファーマ株式会社  
メディカルアフェアーズ本部

★ HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

# 共催シンポジウム

■日時：11月19日（土） 15:50～17:50

■会場：第2会場（アクトシティ浜松 B1F 中ホール）※同時通訳有り

共催 シンポジウム 7 (臨・C)	Scientific Engagement Satellite Symposium	座長	松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同 研究センター）
	長期療養時代における PLWH の 長期的な健康と QoL 向上を目指 した HIV 治療		

■演者：

SS7-1 Chloe Orkin Queen Mary University of London

SS7-3 Benjamin Young  
ViiV Healthcare, USA

SS7-2 木内 英  
東京医科大学臨床検査医学分野

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：11月20日（日） 8:30～10:30

■会場：第3会場（アクトシティ浜松 3F 31 会議室）

共催 シンポジウム 8 (臨・C)	薬薬連携構築に向けた薬剤師が 取り組むべき課題	座長	増田純一（国立国際医療研究センター病院薬剤部） 平野 淳（国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部）
	HIV 診療支援における和衷協同 のススメ～さらなる薬薬連携の 推進に向けて～		

■演者：

SS8-1 病院薬剤師からみた薬薬連携の  
推進に向けた課題  
田澤佑基  
北海道大学病院薬剤部

SS8-3 院外処方始まりから、現在までの歩み  
中村美紀  
一般社団法人日本薬業育成会きらめき薬局

SS8-2 薬薬連携、トレーシングレポートの  
活用～病院薬剤師～  
長島浩二  
国立国際医療研究センター病院薬剤部

SS8-4 HIV 診療におけるチーム医療の実践  
—薬剤師・薬薬連携への期待—  
田沼順子  
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

★ HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会



# 共催シンポジウム

■日時：11月20日（日） 10：40～12：10

■会場：第3会場（アクトシティ浜松3F 31会議室）

共催  
シンポジウム9  
（臨・C）

持効性注射剤による新しいHIV  
感染症治療

座長 岡 慎一（国立研究開発法人国立国際医療研究  
センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者：

SS9-1

安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

SS9-3

矢倉裕輝

国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター  
エイズ先端医療研究部

SS9-2

田沼順子

国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ  
治療・研究開発センター医療情報室・救済医療室

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社/  
塩野義製薬株式会社

# ランチョンセミナー

■日時：11月18日（金） 12：10～13：10

■会場：第1会場（アクトシティ浜松1F 大ホール）

## ランチョン セミナー1

座長 湯永博之（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者：

LS1

LTTS 達成のために BIC/TAF/  
FTC が果たす役割について

渡邊 大

国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター・  
エイズ先端医療研究部

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：11月18日（金） 12：10～13：10

■会場：第2会場（アクトシティ浜松B1F 中ホール）

## ランチョン セミナー2

患者さんの課題にアプローチ～  
生活習慣病と HIV マネジメント  
の両立

座長

白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター臨床研究  
センター）

■演者：

LS2-1

HIV 診療におけるプライマリケア  
—生活習慣病対策における  
HIV 外来医の役割—

田沼順子

国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ  
治療・研究開発センター

LS2-2

患者さんの背景に応じた ART 選択  
安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

共催：MSD 株式会社

# ランチョンセミナー

■日時：11月18日（金） 12：10～13：10

■会場：第3会場（アクトシティ浜松3F 31会議室）

## ランチョン セミナー3

グローバルヘルスからスペース  
ヘルスへ

座長

飯山達雄（国立国際医療研究センター臨床研究センター  
インターナショナルトライアル部）

■演者：

LS3-1

地球観測衛星データの公衆衛生分野  
での利用

大吉 慶

宇宙航空研究開発機構第一宇宙技術部門地球観測研究  
センター

LS3-3

人工衛星通信技術を利用したユニ  
バーサルヘルスカバレッジ達成の  
ための保健医療サービス提供の最  
適化に関する研究

松下由実

国立国際医療研究センター臨床研究センター臨床  
研究統括部

LS3-2

気候変動と感染症—地球観測衛星  
データを活用した疫学研究の取り  
組み

狩野繁之

国立国際医療研究センター研究所熱帯医学・マラリア  
研究部

共催：国立研究開発法人  
国立国際医療研究センター

■日時：11月18日（金） 12：10～13：10

■会場：第4会場（アクトシティ浜松4F 41会議室）

## ランチョン セミナー4

血友病における包括的診療の  
取り組み

座長

木内 英（東京医科大学臨床検査医学分野）

■演者：

LS4-1

血友病治療における未解決課題に  
対する包括的アプローチに基づく  
血友病医療の新たな展望と大阪医療  
センター（血友病診療ブロック拠点  
病院）における取り組み

矢田弘史

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター血友病科

LS4-3

薬害保因者遺族にとっても欠く  
ことのできない保因者健診

西田恭治

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター血友病科/  
感染症内科

LS4-2

血友病包括医療における薬剤師の  
役割の実際

矢倉裕輝

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤部/  
血友病科

共催：CSL ベーリング株式会社

# ランチョンセミナー

■日時：11月18日（金） 12：10～13：10

■会場：第5会場（アクトシティ浜松 4F 43+44 会議室）

## ランチョン セミナー5

座長 藤井輝久（広島大学病院輸血部エイズ医療対策室）

■演者：

LS5

血友病診療における多職種連携、  
地域連携

山之内純

愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部

共催：武田薬品工業株式会社

■日時：11月19日（土） 11：50～12：50

■会場：第1会場（アクトシティ浜松 1F 大ホール）

## ランチョン セミナー6

座長 舘田一博（東邦大学医学部微生物・感染症学講座）

■演者：

LS6

COVID-19 治療の最前線～ゼビュ  
ディの位置づけと対象患者について  
考える～

三嶋廣繁

愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

■日時：11月19日（土） 11：50～12：50

■会場：第3会場（アクトシティ浜松 3F 31 会議室）

## ランチョン セミナー7

HIV treatment up-to-date 座長 南 留美（九州医療センター免疫感染症内科）  
田沼順子（国立国際医療研究センターエイズ治療・  
研究開発センター医療情報室）

■演者：

LS7-1

田沼順子

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発  
センター医療情報室

LS7-2

南 留美

九州医療センター免疫感染症内科

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社/  
塩野義製薬株式会社

# ランチョンセミナー

■日時：11月19日（土） 11：50～12：50

■会場：第4会場（アクトシティ浜松4F 41会議室）

## ランチョン セミナー 8

HIV 治療におけるダルナビル  
製剤のポジショニング

座長

漏永博之（国立国際医療研究センターエイズ治療・  
研究開発センター研究開発科）

■演者：

LS8-1

ART 導入期におけるDRVの使い方

吉村幸浩

横浜市立市民病院感染症内科

LS8-2

維持期における課題とダルナビル  
製剤の使い方

白野倫徳

大阪市立総合医療センター感染症内科

共催：ヤンセンファーマ株式会社

■日時：11月19日（土） 11：50～12：50

■会場：第5会場（アクトシティ浜松4F 43+44会議室）

## ランチョン セミナー 9

患者満足度向上を目指して、  
チーム医療が貢献できること

座長

松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究  
センター）

■演者：

LS9-1

古賀道子

東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症  
分野

LS9-2

緒方 釈

熊本大学病院感染免疫診療部

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：11月20日（日） 12：20～13：20

■会場：第1会場（アクトシティ浜松1F 大ホール）※同時通訳有り

## ランチョン セミナー 10

持続性注射剤：HIV と共に  
生きる人々への新しい選択肢

座長

岡 慎一（国立研究開発法人国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター）

■演者：

LS10-1

岡 慎一

国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ  
治療・研究開発センター

LS10-2

Chloe Orkin

Queen Mary University of London

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社/  
塩野義製薬株式会社

# ランチョンセミナー

■日時：11月20日(日) 12:20~13:20

■会場：第3会場(アクトシティ浜松3F 31会議室)

## ランチョン セミナー 11

座長 木内 英(東京医科大学臨床検査医学分野)

■演者：

LS11

患者の自己申告とトラフ値のみで  
治療戦略を立てる時代は  
そろそろ終わりにしませんか？

山崎尚也

広島大学病院輸血部血友病診療センター

共催：中外製薬株式会社

■日時：11月20日(日) 12:20~13:20

■会場：第4会場(アクトシティ浜松4F 41会議室)

## ランチョン セミナー 12

新型コロナのゲノム解析を踏ま  
えた、今後の感染症対策へのゲノム  
解析への活用について

座長 池田昌人(SB新型コロナウイルス検査センター  
株式会社)

■演者：

LS12-1

池田昌人

SB新型コロナウイルス検査センター株式会社

LS12-2

和山行正

SB新型コロナウイルス検査センター株式会社

共催：SB新型コロナウイルス検査センター  
株式会社

■日時：11月20日(日) 12:20~13:20

■会場：第5会場(アクトシティ浜松4F 43+44会議室)

## ランチョン セミナー 13

多職種との医療連携の必要性・  
その実態について

座長 田沼順子(国立国際医療研究センター病院エイズ治療  
・研究開発センター)

■演者：

LS13-1

多職種との協働による個別支援とは  
大金美和

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発  
センター

LS13-2

まずは関節から—東京医科大学で  
血友病包括外来始めました—

近澤悠志

東京医科大学臨床検査医学分野

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

# ティータイムセミナー

■日時：11月20日（日） 11：00～12：00

■会場：第4会場（アクトシティ浜松4F 41会議室）※同時通訳有り

ティータイム  
セミナー

Chair 仲村秀太（琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科）

■Speaker：

TS

Personalized treatment based  
on EACS Guidelines

Jürgen K. Rockstroh

Department of Medicine I, University Hospital  
Bonn

共催：MSD 株式会社